

# 7課

## 実践的な祈り

5月16日

安息日午後

5月9日

### 暗証聖句

民よ、どのような時にも神に信頼し/御前に心を注ぎ出せ。神はわたしたちの避けどころ。(詩編 62:9、新共同訳)

民よ、いかなる時にも神に信頼せよ。そのみ前にあなたがたの心を注ぎ出せ。神はわれらの避け所である。(詩篇 62:8、口語訳)

### 今週の聖句

列王記上(列王紀上)19:1~18、マタイ 6:5~8、ルカ 11:2~4、マタイ 6:5~15、ダニエル 9:4~19、ローマ 8:26、27

### 今週のテーマ

あなたの祈りの生活は、どのようなものでしょうか。どれくらいの頻度で、どれくらい熱心に、どれほど期待を込めて祈っていますか。毎日祈りますか。それとも、緊急の時だけですか。あなたの祈りは、いつも何かを求めるものですか。祈りの中で神を賛美することはあるでしょうか。

また、朝食の前や、忙しい1日の途中でも祈りをささげているでしょうか。もしかすると、定期的に祈りのグループに参加したり、24時間ずっと祈り続けたりしたことがあるかもしれません。祈りを通して、人生のすべてを変える神の力と臨在を体験したことがあるでしょうか。

祈りは、私たち(枝)とイエス(ぶどうの木)との絶え間ないつながりです。「われわれが成長して豊かに実を結ぼうと思うならば、われわれは、生きたぶどうの木から絶えず水分と栄養分を吸収しなければならない。われわれは、ぶどうの木から離れてはなんの力もない」(『初代文集』新装版 86ページ)。これは、永続的な祈りがもたらす祝福です。神は私たちの祈りを聞き、いつもご自分のタイミングとご自分の完璧な方法で——必ずしも私たちが期待するとおりではないかもしれませんが——答えてくださいます。

今週は、聖書に登場する〔先週とは〕別の祈る人物たちについて学び、私たちの日々の生活の中で祈りを深めるための実践的な方法を考えてみましょう。

忠実なエリヤは、アハブ王が「それまでのイスラエルのどの王にもまして、イスラエルの神、主の怒りを招くことを行った」〔口語訳「彼よりも先にいたイスラエルのすべての王にまさってイスラエルの神、主を怒らせることを行った」〕(王上16:33) 邪悪な時代に生きていました。エリヤの人生で最も劇的な瞬間は、カルメル山での対決でした(同18章参照)。この驚くべき物語の山場で、アハブとその王国は、神が祈りに答えてくださるという真実を自らの目で見ました。これは、イスラエルの歴史において忘れがたい瞬間でしたが、だからこそ続く物語の急展開に私たちは驚かされます。

**問1** 列王記上(列王紀上)19:1~18を読み、特にエリヤの祈りと、神とのやりとりに注目してください。ここでエリヤが落胆した中心的理由は何でしょうか。神の応答は、カルメル山で起こったことと、どう違いますか。

1日を通して、神がエリヤの祈りにすべて答えてくださったにもかかわらず、預言者の感情的、精神的、肉体的状態は、すぐに変化しました。その日、エリヤは神と共に大きな勝利を経験しましたが、疲れ果てた途端、死を恐れる彼の気持ちが神に対する信仰に勝ってしまったのです。この物語で印象的なのは、エリヤが落胆と失望に屈したにもかかわらず、神〔主の御使い〕が優しきと思いやりをもって彼のところに来て、食べ物と水を与えてくださったことです(王上19:5、6)。その結果、エリヤは40日40夜もの間、持ちこたえることができました(同19:8)。そして、これまでとはまったく異なる方法で、神がついにご自身をあらわされました。

私たちの人生において、神がとても直接的で、力強く、否定できない方法で答えてくださることがあります。そのような体験は私たちの信仰を強め、神が私たちの人生の中で近くにおられることを実感させてくれます。

時として私たちは、揺るぎない信仰をもって神に従うのは難しすぎると考え、誘惑に屈してしまいます。また私たちは、神がこう答えてくださるだろうと自分の期待する形で神の答えを求めますが、神の思いや道は、私たちの思いや道よりもはるかに高く、賢明であることを自覚していません(イザ55:8、9)。神の創造について、理解できないことがたくさんあるように、神の道についても、理解できないことがたくさんあることに、驚くべきではありません。

私たちの善良で優しい父なる神は、あなたが必要としているものを正確に知っておられます。どうすれば、静まって神を信頼し、神から目を離さずにいられるでしょうか。今、このことについて、神に話しかけてみてください。

**王上 16:33 (新共同訳)**

16:33 アハブはまたアシエラ像を造り、それまでのイスラエルのどの王にもまして、イスラエルの神、主の怒りを招くことを行った。

**王上 19:1~18 (新共同訳)**

19:11 アハブは、エリヤの行ったすべての事、預言者を剣で皆殺しにした次第をすべてイゼベルに告げた。

19:2 イゼベルは、エリヤに使者を送ってこう言させた。「わたしが明日のこの時刻までに、あなたの命をあの前言者たちの一人の命のようにしていなければ、神々が幾重にもわたしを罰してくださるよに。」

19:3 それを聞いたエリヤは恐れ、直ちに逃げた。ユダのベエル・シエバに来て、自分の従者をそこに残し、

19:4 彼自身は荒れ野に入り、更に一日の道のりを歩き続けた。彼は一本のえにしだの木の下に来て座り、自分の命が絶えるのを願って言った。「主よ、もう十分です。わたしの命を取ってください。わたしは先祖にまさる者ではありません。」

19:5 彼はえにしだの木の下で横になって眠ってしまった。御使いが彼に触れて言った。「起きて食べよ。」

19:6 見ると、枕もとに焼き石で焼いたパン菓子と水の入った瓶があったので、エリヤはそのパン菓子を食べ、水を飲んで、また横になった。

19:7 主の御使いはもう一度戻って来てエリヤに触れ、「起きて食べよ。この旅は長く、あなたには耐え難いからだ」と言った。

19:8 エリヤは起きて食べ、飲んだ。その食べ物に力づけられた彼は、四十日四十夜歩き続け、ついに神の山ホレブに着いた。

19:9 エリヤはそこにあった洞穴に入り、夜を過ごした。見よ、そのとき、主の言葉があった。「エリヤよ、ここで何をしているのか。」

19:10 エリヤは答えた。「わたしは万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました。ところが、イスラエルの人々はあなたとの契約を捨て、祭壇を破壊し、預言者た

**王上 16:33 (口語訳)**

16:33 アハブはまたアシラ像を造った。アハブは彼よりも先にいたイスラエルのすべての王にまさってイスラエルの神、主を怒らせることを行った。

**王上 19:1~18 (口語訳)**

19:1 アハブはエリヤのしたすべての事、また彼がすべての預言者を刀で殺したことをイゼベルに告げたので、

19:2 イゼベルは使者をエリヤにつかわして言った、「もしわたしが、あすの今ごろ、あなたの命をあの人々のひとりの命のようにしていないならば、神々がどんなにでも、わたしを罰してくださるよに。」

19:3 そこでエリヤは恐れて、自分の命を救うために立って逃げ、ユダに属するベエルシバへ行って、しもべをそこに残し、

19:4 自分は一日の道のりほど荒野にはいって行って、れだまの木の下に座し、自分の死を求めて言った、「主よ、もはや、じゅうぶんです。今わたしの命を取ってください。わたしは先祖にまさる者ではありません。」

19:5 彼はれだまの木の下に伏して眠ったが、天の使が彼にさわり、「起きて食べなさい」と言ったので、

19:6 起きて見ると、頭のそばに、焼け石の上で焼いたパン一個と、一びんの水があった。彼は食べ、かつ飲んでまた寝た。

19:7 主の使は再びきて、彼にさわって言った、「起きて食べなさい。道が遠くて耐えられないでしょうから」。

19:8 彼は起きて食べ、かつ飲み、その食物で力づいて四十日四十夜行って、神の山ホレブに着いた。

19:9 その所で彼はほら穴にはいって、そこに宿ったが、主の言葉が彼に臨んで、彼に言われた、「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか」。

19:10 彼は言った、「わたしは万軍の神、主のために非常に熱心でありました。イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、刀をもってあな

ちを剣にかけて殺したのです。わたし一人だけが残り、彼らはこのわたしの命をも奪おうとねらっています。」

19:11 主は、「そこを出て、山の中で主の前に立ちなさい」と言われた。見よ、そのとき主が通り過ぎて行かれた。主の御前には非常に激しい風が起り、山を裂き、岩を砕いた。しかし、風の中に主はおられなかった。風の後に地震が起こった。しかし、地震の中にも主はおられなかった。

19:12 地震の後に火が起こった。しかし、火の中にも主はおられなかった。火の後に、静かにささやく声が聞こえた。

19:13 それを聞くと、エリヤは外套で顔を覆い、出て来て、洞穴の入り口に立った。そのとき、声はエリヤにこう告げた。「エリヤよ、ここで何をしているのか。」

19:14 エリヤは答えた。「わたしは万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました。ところが、イスラエルの人々はあなたとの契約を捨て、祭壇を破壊し、預言者たちを剣にかけて殺したのです。わたし一人だけが残り、彼らはこのわたしの命をも奪おうとねらっています。」

19:15 主はエリヤに言われた。「行け、あなたの来た道を引き返し、ダマスコの荒れ野に向かえ。そこに着いたなら、ハザエルに油を注いで彼をアラムの王とせよ。」

19:16 ニムシの子イエフにも油を注いでイスラエルの王とせよ。またアベル・メホラのシャファトの子エリシャにも油を注ぎ、あなたに代わる預言者とせよ。

19:17 ハザエルの剣を逃れた者をイエフが殺し、イエフの剣を逃れた者をエリシャが殺すであろう。

19:18 しかし、わたしはイスラエルに七千人を残す。これは皆、バアルにひざまずかず、これに口づけしなかった者である。」

**イザ 55:8、9 (新共同訳)**

55:8 わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり/わたしの道はあなたたちの道と異なると/主は言われる。

55:9 天が地を高く超えているように/わ

たの預言者たちを殺したのです。ただわたしだけ残りましたが、彼らはわたしの命を取ろうとしています。」

19:11 主は言われた、「出て、山の上で主の前に、立ちなさい」。その時主は通り過ぎられ、主の前に大きな強い風が吹き、山を裂き、岩を砕いた。しかし主は風の中におられなかった。風の後に地震があったが、地震の中にも主はおられなかった。

19:12 地震の後に火があったが、火の中にも主はおられなかった。火の後に静かな細かい声が聞こえた。

19:13 エリヤはそれを聞いて顔を外套に包み、出てほら穴の口に立つと、彼に語る声が聞えた、「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか。」

19:14 彼は言った、「わたしは万軍の神、主のために非常に熱心でありました。イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、刀であなたの預言者たちを殺したからです。ただわたしだけ残りましたが、彼らはわたしの命を取ろうとしています。」

19:15 主は彼に言われた、「あなたの道を帰って行って、ダマスコの荒野におもむき、ダマスコに着いて、ハザエルに油を注ぎ、スリヤの王とせよ。」

19:16 またニムシの子エヒウに油を注いでイスラエルの王としなさい。またアベルメホラのシャパテの子エリシャに油を注いで、あなたに代って預言者としなさい。

19:17 ハザエルのつるぎをのがれる者をエヒウが殺し、エヒウのつるぎをのがれる者をエリシャが殺すであろう。

19:18 また、わたしはイスラエルのうちに七千人を残すであろう。皆バアルにひざまずかず、それに口づけしない者である。」

**イザ 55:8、9 (口語訳)**

55:8 わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。

55:9 天が地よりも高いように、わが道

たしの道は、あなたたちの道を/わたしの  
思いは/あなたたちの思いを、高く超えて  
いる。

は、あなたがたの道よりも高く、わが思  
いは、あなたがたの思いよりも高い。

月曜日 5月11日 祈りが答えられないように思えるとき

問2 何かについて長い間、場合によっては何年も祈ってきたのに、神が祈りを聞いてく  
てくださらないように感じることもあるかもしれません。聖書には、「何事でも  
神の御心にかなうことをわたしたちが願うなら」〔口語訳「わたしたちが何事でも神  
の御旨に従って願い求めるなら」〕(Iヨハ5:14)、「求めよ。そうすれば、与えられる」  
(マタ7:7、口語訳)とあります。これらの約束を、あなたはどのように理解していますか。

ハンナは、非常に具体的なことを祈り求めた敬虔な女性の例です(サム上1:10~  
17)。当初彼女は、神が自分の祈りに答えてくれないように思えましたが、粘り強く  
祈り続け、神は御心に従って最良の時に、祈りに答えてくださいました。時として、  
待つことによって神との歩みが深まり、神を一層信頼できるようになるのです。

詩編62:9(口語訳 詩篇 62:8)には、「民よ、どのような時にも神に信頼し/御前に心  
を注ぎ出せ。神はわたしたちの避けどころ」〔口語訳「民よ、いかなる時にも神に信頼せ  
よ。そのみ前にあなたがたの心を注ぎ出せ。神はわれらの避け所である」〕と記されていま  
す。信頼してください。私たちは、祈りがすぐに答えられないように思えるときも、  
神は何が最善であるかを知っておられると信頼しているのでしょうか。最終的に、神  
が完全な時に、完全な方法で答えてくださると信じているのでしょうか。

時として祈りは、私たちが望むほど早く、あるいは私たちが望むような方法で答  
えられません。このことについて、聖書はどんな助言を与えていますか。

- 自分の願いではなく、神の御心を求めなさい(マタ6:10、Iヨハ5:14、15)。
- 自分の動機を考えなさい(箴16:2、ヤコ4:3)。
- 心に抱えている罪がないか考えなさい(詩編(詩篇)66:18、Iペト(ペテ)3:12、箴15:29)。
- 神につながり、神の言葉を内に宿しなさい(ヨハ15:7)。
- 信仰をもって祈りなさい(ヘブ11:6、ヤコ1:6、マコ11:24、マタ21:22)。
- 自分の心の状態(謙遜か高慢か)を考えなさい(ヤコ4:6、Iペト(ペテ)5:6)。
- たゆまず続けなさい(Iテサ5:17、18)。
- ほかの人を赦しなさい(マコ11:25、26)。
- 結局、神は全体像を見ておられ、私たちに何かが最善かをご存じです  
(ロマ8:28、エフェ(エペ)3:20、エレ29:11~13)。時として、神の答えは、パウロに対  
する答えと同様、次のようなものにすぎません。「わたしの恵みはあなたに  
十分である」〔口語訳「わたしの恵みはあなたに対して十分である」〕(IIコリ12:9)。

祈りが答えられないように思えるとき、私たちの反応を決める重要な要素は、私  
たちが抱く神のイメージです。もし神を遠く離れた無関心な存在と見るなら、神と

の関係は弱まります。そのような時は、聖書の中に神の愛と配慮の証拠を探し、神に対する歪んだイメージが正されるように祈ってください。

**Iヨハ5:14 (新共同訳)**

5:14 何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。

**マタ7:7 (新共同訳)**

7:7 「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

**サム上1:10~17 (新共同訳)**

1:10 ハンナは悩み嘆いて主に祈り、激しく泣いた。

1:11 そして、誓いを立てて言った。「万軍の主よ、はしための苦しみを御覧ください。はしために御心を留め、忘れることなく、男の子をお授けくださいますなら、その子の一生を主におささげし、その子の頭には決してかみそりを当てません。」

1:12 ハンナが主の御前であまりにも長く祈っているので、エリは彼女の口もとを注意して見た。

1:13 ハンナは心のうちで祈っていて、唇は動いていたが声は聞こえなかった。エリは彼女が酒に酔っているのだと思い、

1:14 彼女に言った。「いつまで酔っているのか。酔いをさましてきなさい。」

1:15 ハンナは答えた。「いいえ、祭司様、違います。わたしは深い悩みを持った女です。ぶどう酒も強い酒も飲んでおりません。ただ、主の御前に心からの願いを注ぎ出しておりました。

1:16 はしために墮落した女だと誤解なさらなくてください。今まで祈っていたのは、訴えたいこと、苦しいことが多くあるからです。」そこでエリは、

1:17 「安心して帰りなさい。イスラエルの神が、あなたの乞い願うことをかなえてくださるように」と答えた。

48

**Iヨハ5:14 (口語訳)**

5:14 わたしたちが神に対していただいている確信は、こうである。すなわち、わたしたちが何事でも神の御旨に従って願い求めるなら、神はそれを聞き入れて下さるということである。

**マタ7:7 (口語訳)**

7:7 求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

**サム上1:10~17 (口語訳)**

1:10 ハンナは心に深く悲しみ、主に祈って、はげしく泣いた。

1:11 そして誓いを立てて言った、「万軍の主よ、まことに、はしための悩みをかえりみ、わたしを覚え、はしために忘れずに、はしために男の子を賜わりますなら、わたしはその子を一生のあいだ主にささげ、かみそりをその頭にあてません」。

1:12 彼女が主の前で長く祈っていたので、エリは彼女の口に目をとめた。

1:13 ハンナは心のうちで物を言っていたので、くちびるが動くだけで、声は聞こえなかった。それゆえエリは、酔っているのだと思って、

1:14 彼女に言った、「いつまで酔っているのか。酔いをさましなさい」。

1:15 しかしハンナは答えた、「いいえ、わが主よ。わたしは不幸な女です。ぶどう酒も濃い酒も飲んだものではありません。ただ主の前に心を注ぎ出していたのです。

1:16 はしために、悪い女と思わないでください。積る憂いと悩みのゆえに、わたしは今まで物を言っていたのです」。

1:17 そこでエリは答えた、「安心して行きなさい。どうかイスラエルの神があなたの求める願いを聞きとどけられるように」。

詩 62:9 (新共同訳)

62:9 民よ、どのような時にも神に信頼し/御前に心を注ぎ出せ。神はわたしたちの避けどころ。

マタ 6:20 (新共同訳)

6:20 富は、天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。

Iヨハ 5:14、15 (新共同訳)

5:14 何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。

5:15 わたしたちは、願い事は何でも聞き入れてくださるということが分かるなら、神に願ったことは既にかなえられていることも分かります。

箴 16:2 (新共同訳)

16:2 人間の道は自分の目に清く見えるが/主はその精神を調べられる。

ヤコ 4:3 (新共同訳)

4:3 願っても与えられないのは、自分の楽しみのために使おうと、間違った動機で願うからです。

詩 66:18 (新共同訳)

66:18 わたしが心に悪事を見ているなら/主は聞いてくださらないでしょう。

1ペト 3:12 (新共同訳)

3:12 主の目は正しい者に注がれ、主の耳は彼らの祈りに傾けられる。主の顔は悪事を働く者に対して向けられる。」

箴 15:29 (新共同訳)

15:29 主は逆らう者に遠くいますが/従う者の祈りを聞いてくださる。

ヨハ 15:7 (新共同訳)

15:7 あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。

ヘブ 11:6 (新共同訳)

11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存

詩 62:8 (口語訳)

62:8 民よ、いかなる時にも神に信頼せよ。そのみ前にあなたがたの心を注ぎ出せ。神はわれらの避け所である。

マタ 6:20 (口語訳)

6:20 むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。

Iヨハ 5:14、15 (口語訳)

5:14 わたしたちが神に対していただいている確信は、こうである。すなわち、わたしたちが何事でも神の御旨に従って願い求めるなら、神はそれを聞き入れて下さるということである。

5:15 そして、わたしたちが願い求めることは、なんでも聞き入れて下さるとわかれば、神に願い求めたことはすでにかなえられたことを、知るのである。

箴 16:2 (口語訳)

16:2 人の道は自分の目にことごとく潔しと見える。しかし主は人の魂をはかられる。

ヤコ 4:3 (口語訳)

4:3 求めても与えられないのは、快樂のために使おうとして、悪い求め方をするからだ。

詩 66:18 (口語訳)

66:18 しかし、まことに神はお聞きになり、わが祈の声にみこころをとめられた。

1ペテ 3:12 (口語訳)

3:12 主の目は義人たちに注がれ、主の耳は彼らの祈にかたむく。しかし主の御顔は、悪を行う者に対して向かう。」

箴 15:29 (口語訳)

15:29 主は悪しき者に遠ざかり、正しい者の祈を聞かれる。

ヨハ 15:7 (口語訳)

15:7 あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

ヘブ 11:6 (口語訳)

11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、

在しておられること、また、神は御自分を求める者たちに報いてくださる方であることを、信じていなければならないからです。

**ヤコ 1:6 (新共同訳)**

1:6 いささかも疑わず、信仰をもって願いなさい。疑う者は、風に吹かれて揺れ動く海の波に似ています。

**マコ 11:24 (新共同訳)**

11:24 だから、言うておく。祈り求めるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる。

**マタ 21:22 (新共同訳)**

21:22 信じて祈るならば、求めるものは何でも得られる。」

**ヤコ 4:6 (新共同訳)**

4:6 もっと豊かな恵みをくださる。」それで、こう書かれています。「神は、高慢な者を敵とし、謙遜な者には恵みをお与えになる。」

**1ペテ 5:6 (新共同訳)**

5:6 だから、神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。そうすれば、かの時には高めていただけます。

**Iテサ 5:17、18 (新共同訳)**

5:17 絶えず祈りなさい。18 どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

**マコ 11:25、26 (新共同訳)**

11:25 また、立って祈るとき、だれかに対して何か恨みに思うことがあれば、赦してあげなさい。そうすれば、あなたがたの天の父も、あなたがたの過ちを赦してください。」

11:26†

**ロマ 8:28 (新共同訳)**

8:28 神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。

神のいますことと、ご自分を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

**ヤコ 1:6 (口語訳)**

1:6 ただ、疑わないで、信仰をもって願い求めなさい。疑う人は、風の吹くままに揺れ動く海の波に似ている。

**マコ 11:24 (口語訳)**

11:24 そこで、あなたがたに言うが、なんでも祈り求めることは、すでにかなえられたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになるであろう。

**マタ 21:22 (口語訳)**

21:22 また、祈のとき、信じて求めるものは、みな与えられるであろう。」

**ヤコ 4:6 (口語訳)**

4:6 しかし神は、いや増しに恵みを賜う。であるから、「神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜う」とある。

**1ペテ 5:6 (口語訳)**

5:6 だから、あなたがたは、神の力強い御手の下に、自らを低くしなさい。時が来れば神はあなたがたを高くして下さるであろう。

**Iテサ 5:17、18 (口語訳)**

5:17 絶えず祈りなさい。18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである。

**マコ 11:25、26 (口語訳)**

11:25 また立って祈るとき、だれかに対して、何か恨み事があるならば、ゆるしてやりなさい。そうすれば、天にいますあなたがたの父も、あなたがたのあやまちを、ゆるしてくださいであろう。

11:26 [もしゆるさないならば、天にいますあなたがたの父も、あなたがたのあやまちを、ゆるして下さらないであろう]」。

**ロマ 8:28 (口語訳)**

8:28 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

**エフェ 3:20 (新共同訳)**

3:20 わたしたちの内に働く御力によって、わたしたちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに越えてかなえることのおおきになる方に、

**エレ 29:11~13 (新共同訳)**

29:11 わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。

29:12 そのとき、あなたたちがわたしを呼び、来てわたしに祈り求めるなら、わたしは聞く。

29:13 わたしを尋ね求めるならば見だし、心を尽くしてわたしを求めると、

**II コリ 12:9 (新共同訳)**

12:9 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

**エペ 3:20 (口語訳)**

3:20 どうか、わたしたちのうちに働く力によって、わたしたちが求めた思うところのいっさいを、はるかに越えてかなえて下さることができるときに、

**エレ 29:11~13 (口語訳)**

29:11 主は言われる、わたしがあなたがたに対してにしている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

29:12 その時、あなたがたはわたしに呼びわり、来て、わたしに祈る。わたしはあなたがたの祈を聞く。

29:13 あなたがたはわたしを尋ね求めて、わたしに会う。もしあなたがたが一心にわたしを尋ね求めるならば、

**II コリ 12:9 (口語訳)**

12:9 ところが、主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。

火曜日

5月12日

イエスは祈り方を教えてください

イエスの時代、長い時間をかけて丹念に練られた脚本のような——複雑な言葉を用い、しばしば暗記された——祈りが、高く評価されていました。イエスはこの種の祈りについて、良いことは何も言わず(マタ6:5~8参照)、そうした祈りが「敬虔さ」を誇示する見せかけであることを明らかにされました。

弟子たちは、イエスが祈られるのを見て、祈りが彼の生活の重要な部分であることを知りました(ルカ5:16、6:12、9:18、22:41、24:30、マコ1:35、6:46参照)。彼らはイエスを観察するうちに、宗教指導者たちとの違いを目の当たりにし、祈りには自分たちが考えていた以上に多くの意味があることに気づいたのです。そこで弟子たちはイエスのもとに来て、「主よ、……わたしたちにも祈りを教えてください」〔口語訳「主よ、……わたしたちにも祈ることを教えてください」〕(ルカ11:1)と願いました。

イエスのご自分の弟子たち(そして私たち)に、日常的な言葉で簡単に祈ることができるとい模範を示してくださいました。そして、私たちの祈りは誠実で、心からのものであるべきだと教えられました。

ルカ11:2~4とマタイ6:5~15を読み、イエスが教えられた祈り〔主の祈り〕の以下の側面に注目してください。

- **天にましますわれらの父よ**——あらゆるものの父であられる神との個人的な関係を認める。
- **願わくは御名をあげめさせたまえ**——神の神聖さを認めることで、私たちは敬意と畏れをもって神の前に出ることができる。
- **御国を来らせたまえ**——神の再臨を待ち望み、それまでの間、聖霊の内住を願う。
- **御心の天になるごとく地にもなさせたまえ**——ただ自分の望むことを祈り求めるのではなく、神が最善をご存じであると信じ、神の御心が私たちの人生においてなされるように、身を委ねつつ祈り求める。
- **われらに日用の糧をきょうも与えたまえ**——生きるうえで必要なもの(肉体的には、食べ物や水、霊的には、イエスと彼の生ける言葉)を求める。
- **われらに罪を犯す者をわれらが赦すごとく、われらの罪をも赦しまえ**——悔い改め、赦しを求め、神が私たちを赦してくださるように、私たちを傷つけた者を赦すことを忘れない。
- **われらを試みに遭わせず、悪より救い出したまえ**——この世の悪からの守りと避け所を求める(詩編 91 編(詩篇 91 篇))。
- **国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。アーメン**——私たちの存在そのもの、私たちの持ち物、私たちの行いは、すべて神のものであることを認める。神だけが栄光と賛美を受けるにふさわしいお方である(代上 29:11)。

毎朝、神に顔を向け、あなたを愛しておられる神に語りかけてみませんか。

**【参考】英語テキストにある文**

Why not pray more and turn your face to God each morning to talk to the One who loves you more than any other? What is stopping you from doing this as you know you should? Pray right now, as Jesus has invited us to.

誰よりもあなたを愛してくださる方と語り合うために、毎朝、もっと祈り、神に顔を向けてみませんか。そうすべきだと分かっているながら、何があなたを躊躇させているのでしょうか。イエスが私たちを招いてくださったように、今すぐ祈りましょう。

49

**マタ 6:5~15 (新共同訳)**

6:5 「祈るときにも、あなたがたは偽善者のようであってはならない。偽善者たちは、人に見てもらおうと、会堂や大通りの角に立って祈りたがる。はっきり言っておく。彼らは既に報いを受けている。6:6 だから、あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れた

**マタ 6:5~15 (口語訳)**

6:5 また祈る時には、偽善者たちのようにするな。彼らは人に見せようとして、会堂や大通りのつじに立って祈ることを好む。よく言っておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。6:6 あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においていな

ところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。

6:7 また、あなたがたが祈るときは、異邦人のようにくどくどと述べてはならない。異邦人は、言葉数が多ければ、聞き入れられると思いついでいる。

6:8 彼らのまねをしてはならない。あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ。

6:9 だから、こう祈りなさい。『天におられるわたしたちの父よ、御名が崇められますように。』

6:10 御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも。

6:11 わたしたちに必要な糧を今日与えてください。

6:12 わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を/赦しましたように。

6:13 わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。』

6:14 もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

6:15 しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。』

**ルカ 5:16 (新共同訳)**

5:16 だが、イエスは人里離れた所に退いて祈っておられた。

**ルカ 6:12 (新共同訳)**

6:12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。

**ルカ 9:18 (新共同訳)**

9:18 イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちは共にいた。そこでイエスは、「群衆は、わたしのことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。

**ルカ 22:41 (新共同訳)**

22:41 そして自分は、石を投げて届くほどの所に離れ、ひざまずいてこう祈られた。

るあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

6:7 また、祈る場合、異邦人のように、くどくどと祈るな。彼らは言葉がずが多ければ、聞きいれられるものと思っている。

6:8 だから、彼らのまねをするな。あなたがたの父なる神は、求めない先から、あなたがたに必要なものはご存じなのである。

6:9 だから、あなたがたはこう祈りなさい、天にいますわれらの父よ、御名があがめられますように。

6:10 御国がきますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように。

6:11 わたしたちの日ごとの食物を、きょうもお与えください。

6:12 わたしたちに負債のある者をゆるしましたように、わたしたちの負債をもおゆるしてください。

6:13 わたしたちを試みに会わせないで、悪しき者からお救いください。

6:14 もしも、あなたがたが、人々のあやまちをゆるすならば、あなたがたの天の父も、あなたがたをゆるして下さるであろう。

6:15 もし人をゆるさないならば、あなたがたの父も、あなたがたのあやまちをゆるして下さらないであろう。

**ルカ 5:16 (口語訳)**

5:16 しかしイエスは、寂しい所に退いて祈っておられた。

**ルカ 6:12 (口語訳)**

6:12 このころ、イエスは祈るために山へ行き、夜を徹して神に祈られた。

**ルカ 9:18 (口語訳)**

9:18 イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちが近くにいたので、彼らに尋ねて言われた、「群衆はわたしをだれと言っているか」。

**ルカ 22:41 (口語訳)**

22:41 そしてご自分は、石を投げてとどくほど離れたところへ退き、ひざまずいて、祈って言われた、

**ルカ 24:30 (新共同訳)**

24:30 一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。

**マコ 1:35 (新共同訳)**

1:35 朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出て行き、そこで祈っておられた。

**マコ 6:46 (新共同訳)**

6:46 群衆と別れてから、祈るために山へ行かれた。

**ルカ 11:1~4 (新共同訳)**

11:1 イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください」と言った。

11:2 そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。『父よ、御名が崇められますように。御国が来ますように。』」

11:3 わたしたちに必要な糧を毎日与えてください。

11:4 わたしたちの罪を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を/皆赦しますから。わたしたちを誘惑に遭わせないでください。』」

**詩 91 編 (新共同訳)**

91:1 いと高き神のもとに身を寄せて隠れ/全能の神の陰に宿る人よ

91:2 主に申し上げよ/「わたしの避けどころ、砦/わたしの神、依り頼む方」と。

91:3 神はあなたを救い出してください/仕掛けられた罠から、陥れる言葉から。

91:4 神は羽をもってあなたを覆い/翼の下にかばってください。神のまことは大盾、小盾。

91:5 夜、脅かすものをも/昼、飛んで来る矢をも、恐れることはない。

91:6 暗黒の中を行く疫病も/真昼に襲う病魔も

91:7 あなたの傍らに一千の人/あなたの右に一万の人が倒れるときすら/あなたを襲うことはない。

**ルカ 24:30 (口語訳)**

24:30 一緒に食卓につかれたとき、パンを取り、祝福してさき、彼らに渡しておられるうちに、

**マコ 1:35 (口語訳)**

1:35 朝はやく、夜の明けるとほど前に、イエスは起きて寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。

**マコ 6:46 (口語訳)**

6:46 そして群衆に別れてから、祈るために山へ退かれた。

**ルカ 11:1~4 (口語訳)**

11:1 また、イエスはある所で祈っておられたが、それが終わったとき、弟子のひとりが言った、「主よ、ヨハネがその弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈ることを教えてください」。

11:2 そこで彼らに言われた、「祈るときには、こう言いなさい、『父よ、御名があがめられますように。御国がきますように。』」

11:3 わたしたちの日ごとの食物を、日々お与えください。

11:4 わたしたちに負債のある者を皆ゆるしますから、わたしたちの罪をもゆるしてください。わたしたちを試みに会わせないでください。』」

**詩 91 篇 (口語訳)**

91:1 いと高き者のもとにある隠れ場に住む人、全能者の陰にやどる人は

91:2 主に言うであろう、「わが避け所、わが城、わが信頼しまつるわが神」と。

91:3 主はあなたをかりゅうどのわなと、恐ろしい疫病から助け出されるからである。

91:4 主はその羽をもって、あなたをおおわれる。あなたはその翼の下に避け所を得るであろう。そのまことは大盾、また小盾である。

91:5 あなたは夜の恐ろしい物をも、昼に飛んでくる矢をも恐れることはない。

91:6 また暗やみに歩きまわる疫病をも、真昼に荒す滅びをも恐れることはない。

91:7 たとい千人はあなたのかたわらに倒れ、万人はあなたの右に倒れても、その災はあなたに近づくことはない。

91:8 あなたの目が、それを眺めるのみ。神に逆らう者の受ける報いを見ているのみ。

91:9 あなたは主を避けどころとし/いと高き神を宿るところとした。

91:10 あなたには災難もふりかかることがなく/天幕には疫病も触れることがない。

91:11 主はあなたのために、御使いに命じて/あなたの道のどこにおいても守らせてくださる。

91:12 彼らはあなたをその手にのせて運び/足が石に当たらないように守る。

91:13 あなたは獅子と毒蛇を踏みにじり/獅子の子と大蛇を踏んで行く。

91:14 「彼はわたしを慕う者だから/彼を災いから逃れさせよう。わたしの名を知る者だから、彼を高く上げよう。

91:15 彼がわたしを呼び求めるとき、彼に答え/苦難の襲うとき、彼と共にいて助け/彼に名誉を与えよう。

91:16 生涯、彼を満ち足らせ/わたしの救いを彼に見せよう。」

代上 29:11 (新共同訳)

29:11 偉大さ、力、光輝、威光、栄光は、主よ、あなたのもの。まことに天と地にあるすべてのものはあなたのもの。主よ、国もあなたのもの。あなたはすべてのものの上に頭として高く立っておられる。

91:8 あなたはただ、その目をもって見、悪しき者の報いを見るだけである。

91:9 あなたは主を避け所とし、いと高き者をすまいとしたので、

91:10 災はあなたに臨まず、悩みはあなたの天幕に近づくことはない。

91:11 これは主があなたのために天使たちに命じて、あなたの歩むすべての道であなたを守らせられるからである。

91:12 彼らはその手で、あなたをささえ、石に足を打ちつけることのないようにする。

91:13 あなたはししと、まむしとを踏み、若いししと、へびとを足の下に踏みにじるであろう。

91:14 彼はわたしを愛して離れないゆえに、わたしは彼を助けよう。彼はわが名を知るゆえに、わたしは彼を守る。

91:15 彼がわたしを呼ぶとき、わたしは彼に答える。わたしは彼の悩みのときに、共にいて、彼を救い、彼に光栄を与えよう。

91:16 わたしは長寿をもって彼を満ち足らせ、わが救を彼に示すであろう。

代上 29:11 (口語訳)

29:11 主よ、大いなることと、力と、栄光と、勝利と、威光とはあなたのもので、天にあるもの、地にあるものも皆あなたのもので、主よ、国もまたあなたのもので、あなたは万有のかしらとして、あがめられます。

## 水曜日 5月13日 賛美、告白、願い、感謝

マタイ6:5～15で、イエスが教えられた祈り方のおりに、私たちが個人的に、家族と共に、あるいは教会として神の御前に行くとき、この単純な模範に従って祈ることができます。祈りとは友人として神に語りかけることだということを忘れないでください。また私たちの祈りはしばしば願い事ばかりになりがちですが、イエスをもっと多くのことを祈るように教えられました！

問3 ダニエル 9:4~19 のダニエルの祈りを読み、彼の祈りがどんな部分(要素)から構成されているか、注目してください。

あなたの祈りの中に、次の要素をいかに取り入れることができるか、考えてみてください。

**賛美**——賛美とは、神が何者であり、どのようなお方であるかということに対してあらわされた崇敬の念です。神への美しい賛歌である詩編100編(詩篇100篇)を読んでください。神の多くの名と、そのすばらしいご品性について考えてみましょう。一例を挙げるだけでも、あがない主、救い主、慰め主、癒やし主、良き羊飼ひ、アルファでありオメガ、岩であられる神を賛美してください。

**告白と赦し**——神と語り合い、神につながっているとき、私たちは神から自らを妨げたり、引き離したりするものは何であれ、手放さずにはいられません。神に近づけば近づくほど、自分の無価値さや惨めさが見えてきます。そうなることで、私たちの罪を取り除き、神のかたちに品性を形づくってくださいと神に懇願するようになります。神に私たちの赦しを期待するのであれば、私たちもほかの人を赦す心構えが必要です。「だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり効果をもたらします」  
[口語訳「だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互のために祈りなさい。義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。」](ヤコ 5:16)

**願い**——あなたはどんな困難に直面していますか。家族、友人、健康、経済、仕事、勉強に関することでしょうか。具体的に、どういう分野で神の導きの手を必要としていますか。誰があなたの支えを必要としており、あなたはどうすれば最善の形で支援できますか。これらの分野や人々について具体的に祈り、神の御心がなされるように求めてください。

**感謝**——フィリピ(ピリピ) 4:6を読み、あなたの人生における祝福について考えてください。大きなことは思い浮かぶかもしれませんが、私たちがつつい当たり前だと思っている小さなことについてはどうでしょうか。私たちは絶えず神の憐れみを受けています。しかし、神が私たちのためになされたことに対して、感謝をあらわし、賛美することが、なんと少ないことでしょう。

**【参考】英語テキストにある文**

What things do you need to praise God for, confess to Him, request from Him, and to thank Him for? Why not do it right now?

神を賛美し、神に告白し、神に願い求め、そして神に感謝すべきことは何でしょうか。今すぐ、そうしてみませんか。

50

マタ 6:5~15 (新共同訳)

6:5 「祈るときにも、あなたがたは偽善者

マタ 6:5~15 (口語訳)

6:5 また祈る時には、偽善者たちのよう

のようであってはならない。偽善者たちは、人に見てもらおうと、会堂や大通りの角に立って祈りたがる。はっきり言っておく。彼らは既に報いを受けている。  
6:6 だから、あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。  
6:7 また、あなたがたが祈るときは、異邦人のようにくどくどと述べてはならない。異邦人は、言葉数が多ければ、聞き入れられると思いついでいる。  
6:8 彼らのまねをしてはならない。あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ。

6:9 だから、こう祈りなさい。『天におられるわたしたちの父よ、御名が崇められますように。  
6:10 御国が来ますように。御心が行われまますように、天におけるように地の上にも。  
6:11 わたしたちに必要な糧を今日与えてください。  
6:12 わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を/赦しましたように。  
6:13 わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。』  
6:14 もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちをお赦しになる。

6:15 しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちをお赦しにならない。』

**ダニ 9:4~19 (新共同訳)**

9:4 わたしは主なる神に祈り、罪を告白してこう言った。「主よ、畏るべき偉大な神よ、主を愛しその戒めに従う者には契約を守って慈しみを施される神よ、

9:5 わたしたちは罪を犯し悪行を重ね、背き逆らって、あなたの戒めと裁きから離れ去りました。

にするな。彼らは人に見せようとして、会堂や大通りのつじに立って祈ることを好む。よく言っておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

6:6 あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においでになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

6:7 また、祈る場合、異邦人のように、くどくどと祈るな。彼らは言葉がはずが多ければ、聞き入れられるものと思っている。

6:8 だから、彼らのまねをするな。あなたがたの父なる神は、求めない先から、あなたがたに必要なものはご存じなのである。

6:9 だから、あなたがたはこう祈りなさい、天にいますわれらの父よ、御名があがめられますように。

6:10 御国がきますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように。

6:11 わたしたちの日ごとの食物を、きょうもお与えください。

6:12 わたしたちに負債のある者をゆるしましたように、わたしたちの負債をもおゆるしてください。

6:13 わたしたちを試みに会わせないで、悪しき者からお救いください。

6:14 もしも、あなたがたが、人々のあやまちをゆるすならば、あなたがたの天の父も、あなたがたをゆるして下さるであろう。

6:15 もし人をゆるさないならば、あなたがたの父も、あなたがたのあやまちをゆるして下さらないであろう。

**ダニ 9:4~19 (口語訳)**

9:4 すなわちわたしは、わが神、主に祈り、ざんげして言った、「ああ、大いなる恐るべき神、主、おのれを愛し、おのれの戒めを守る者のために契約を保ち、いつくしみを施される者よ、

9:5 われわれは罪を犯し、悪をおこない、よこしまなふるまいをなし、そむいて、あなたの戒めと、おきてを離れました。

9:6 あなたの僕である預言者たちが、御名によってわたしたちの王、指導者、父祖、そして地の民のすべてに語ったのに、それに聞き従いませんでした。

9:7 主よ、あなたは正しくいます。わたしたちユダの者、エルサレムの住民、すなわち、あなたに背いた罪のために全世界に散らされて、遠くにまた近くに住むイスラエルの民すべてが、今日のように恥を被っているのは当然なのです。

9:8 主よ、恥を被るのはわたしたちであり、その王、指導者、父祖なのです。あなたに対して罪を犯したのですから。

9:9 憐れみと赦しは主である神のもの。わたしたちは神に背きました。

9:10 あなたの僕である預言者たちを通して与えられた、律法に従って歩むようにという主なる神の声に聞き従いませんでした。

9:11 イスラエルはすべて、あなたの律法を無視し、御声に耳を傾けませんでした。ですから、神の僕モーセの律法に記されている誓いの呪いが、わたしたちの上にふりかかってきたのです。あなたに対して罪を犯したからにはかぎりません。

9:12 わたしたちにも、わたしたちを治めた指導者にも告げられていた主の御言葉は成就し、恐ろしい災難が襲いました。エルサレムに下されたこの災難ほど恐ろしいものは、いまだ天下に起こったことはありませんでした。

9:13 モーセの律法に記されているこの恐ろしい災難は、紛れもなくわたしたちを襲いました。それでもなお、わたしたちは罪を離れて主なる神の怒りをなだめることをせず、またあなたのまことに目覚めることもできませんでした。

9:14 主はその悪を見張っておられ、それをわたしたちの上到下されました。わたしたちの主なる神のなさることはすべて

9:6 われわれはまた、あなたのしもべなる預言者たちが、あなたの名をもって、われわれの王たち、君たち、先祖たち、および国のすべての民に告げた言葉に聞き従いませんでした。

9:7 主よ、正義はあなたのものですが、恥はわれわれに加えられて、今日のような有様です。すなわちユダの人々、エルサレムの住民および全イスラエルの者は、近き者も、遠き者もみな、あなたが追いやられたすべての国々で恥をこうむりました。これは彼らがあなたにそむいて犯した罪によるのです。

9:8 主よ、恥はわれわれのもの、われわれの王たち、君たちおよび先祖たちのものです。これはわれわれがあなたにむかって罪を犯したからです。

9:9 あわれみと、ゆるしはわれわれの神、主のもので。これはわれわれが彼にそむいたからです。

9:10 またわれわれの神、主のみ声に聞き従わず、主がそのしもべ預言者たちによって、われわれの前に賜った律法を行わなかったからです。

9:11 まことにイスラエルの人々は皆あなたの律法を犯し、離れ去って、あなたのみ声に聞き従わなかったので、神のしもべモーセの律法にするされたのろいと誓いが、われわれの上に注ぎかかりました。これはわれわれが神にむかって罪を犯したからです。

9:12 すなわち神は大いなる災をわれわれの上にくだして、さきにわれわれと、われわれを治めたつかさたちにむかって告げられた言葉を実行されたのです。あのエルサレムに臨んだような事は、全天下にいまだかつてなかった事です。

9:13 モーセの律法にするされたように、この災はすべてわれわれに臨みましたが、なおわれわれの神、主の恵みを請い求めることをせず、その不義を離れて、あなたの真理を悟ることをもしませんでした。

9:14 それゆえ、主はこれを心に留めて、災をわれわれに下されたのです。われわれの神、主は、何事をされるにも、正し

正しく、それに対して、わたしたちは御声に聞き従いませんでした。

9:15 わたしたちの神である主よ、強い御手をもって民をエジプトから導き出し、今日に至る名声を得られた神よ、わたしたちは罪を犯し、逆らいました。

9:16 主よ、常に変わらぬ恵みの御業をもってあなたの都、聖なる山エルサレムからあなたの怒りと憤りを翻してください。わたしたちの罪と父祖の悪行のために、エルサレムもあなたの民も、近隣の民すべてから嘲られています。

9:17 わたしたちの神よ、僕の祈りと嘆願に耳を傾けて、荒廃した聖所に主御自身のために御顔の光を輝かしてください。

9:18 神よ、耳を傾けて聞いてください。目を開いて、わたしたちの荒廃と、御名をもって呼ばれる都の荒廃とを御覧ください。わたしたちが正しいからではなく、あなたの深い憐れみのゆえに、伏して嘆願の祈りをささげます。

9:19 主よ、聞いてください。主よ、お赦してください。主よ、耳を傾けて、お計らいください。わたしの神よ、御自身のために、救いを遅らせないでください。あなたの都、あなたの民は、御名をもって呼ばれているのですから。」

詩 100 編 (新共同訳)

100:1 【賛歌。感謝のために。】

全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。

100:2 喜び祝い、主に仕え/喜び歌って御前に進み出よ。

100:3 知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。わたしたちは主のもの、その民/主に養われる羊の群れ。

100:4 感謝の歌をうたって主の門に進み/賛美の歌をうたって主の庭に入れ。感謝をささげ、御名をたたえよ。

くあらせられます。ところが、われわれはその声に聞き従わなかったのです。

9:15 われわれの神、主よ、あなたは強きみ手をもって、あなたの民をエジプトの地から導き出して、今日のように、み名をあげられました。われわれは罪を犯し、よこしまなふるまいをしました。

9:16 主よ、どうぞあなたが、これまで正しいみわざをなされたように、あなたの町エルサレム、あなたの聖なる山から、あなたの怒りと憤りを取り去ってください。これはわれわれの罪と、われわれの先祖の不義のために、エルサレムと、あなたの民が、われわれの周囲の者の物笑いとなったからです。

9:17 それゆえ、われわれの神よ、しもべの祈と願いを聞いてください。主よ、あなたご自身のために、あの荒れたあなたの聖所に、あなたのみ顔を輝かせてください。

9:18 わが神よ、耳を傾けて聞いてください。目を開いて、われわれの荒れたさまを見、み名をもってとなえられる町をごらんください。われわれがあなたの前に祈をささげるのは、われわれの義によるのではなく、ただあなたの大いなるあわれみによるのです。

9:19 主よ、聞いてください。主よ、ゆるしてください。主よ、み心に留めて、おこなってください。わが神よ、あなたご自身のために、これを延ばさないでください。あなたの町と、あなたの民は、み名をもってとなえられているからです。」

詩 100 篇 (口語訳)

感謝の供え物のための歌

100:1 全地よ、主にむかって喜ばしき声をあげよ。

100:2 喜びをもって主に仕えよ。歌いつつ、そのみ前にきたれ。

100:3 主こそ神であることを知れ。われらを造られたものは主であって、われらは主のものである。われらはその民、その牧の羊である。

100:4 感謝しつつ、その門に入り、ほめたたえつつ、その大庭に入れ。主に感謝し、そのみ名をほめまつれ。

100:5 主は恵み深く、慈しみはとこしえに/主の真実は代々に及ぶ。

ヤコ 5:16 (新共同訳)

5:16 だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします。

フィリ 4:6 (新共同訳)

4:6 どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。

100:5 主は恵みふかく、そのいつくしみはかぎりなく、そのまことはよろず代に及ぶからである。

ヤコ 5:16 (口語訳)

5:16 だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互のために祈りなさい。義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。

ピリ 4:6 (口語訳)

4:6 何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。

## 木曜日 5月14日 祈りに関するそのほかの疑問

神はすでに知っておられるのに、なぜ祈るのか——神はすべてを知っておられるのに、なぜ私たちは祈るべきなのでしょう。エレン・ホワイトはこう説明しています。「これは、何も私たちがどんな者であるかを神に知らせる必要があるからではなく、私たちが神を受け入れるのに必要だからです。祈りは、神を私たちにまで呼び降ろすのではなく、私たちが神のもとへ引き上げるのです」(『キリストへの道』改訂第三版文庫版 131ページ)。確かに、神は私たちの願いや必要を知っておられ、私たちの心の意図をすべて読み取られますが、祈ることは私たちにとって良いことです。祈りは、慌ただしい生活の中で立ち止まり、神がすべてを支配しておられることを認め、神の足もとに身を置き、神の働きを願うように私たちが招きます。聖霊は、私たちがどのように祈るべきかわからないとき、私たちのために執り成してくださいます(ロマ 8:26, 27)。

すべてが順調なのに、なぜ祈るのか——うぬぼれと誇りは(3課参照)、力強い祈りの生活にとって最大の障害の一つになりえます。私たちがどれほど神を必要としているかに気づきさえすれば、もっと神に近づくことができるでしょう!完全な天使が神を崇め、礼拝しているのに、罪深い人間である私たちが、なぜ自分たちのほうが神を必要としていないなどと思えるのでしょうか。

祈りにおける信仰の役割とは何か——ヘブライ(ヘブル) 11:6を読み、次の言葉を深く考えてください。「祈りと信仰は密接につながっており、これらは一緒に学ぶ必要があります。信仰の祈りのなかには天の科学が存在しています。……キリストは言われます。『だから、言うておく。祈り求めるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる』(口語訳『そこで、あなたがたに言うが、なんでも祈り求めることは、すでにかなえられたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになるであろう』(マルコ 11:24)。わたしたちが求めるものは、神のみこころと一致していなければ

ばならないと、キリストは明確に述べておられます。わたしたちは、神が約束されたものを求めねばなりません。そして、わたしたちが受けたものは何であれ、主のみこころのために用いなければなりません」(『真の教育』293 ページ)。

**誰と祈るべきか**——祈りと聖書研究は、神との関係において不可欠ですから、何よりも個人的に(神とあなただけで)祈るべきです。神に語りかけ、神に耳を傾けつつ、自分の心を探る時間を設けましょう(マタ6:6)。また、家族や小グループで祈るべきです(使徒12:12)。二人または三人が集まるところには、神もおられるからです(マタ18:20)。最後に、教会の共同体と共に祈るべきです(ヤコ5:13~16)。これら三種類の祈りはどれも大切です。

**どのように耳を傾けるべきか**——祈りは、単に神に語りかけること以上のものです。神が私たちの「枝を刈り込み」、私たちの人生に語りかけてくださるようになることも必要です。そのための最も確実で安全な方法は、祈りと聖書研究の両方を私的な礼拝の時間に行うことです。聖書を探求する代わりに、心を無にしたり、自分の考えに耳を傾けたりしないように注意してください。

#### 【参考】英語テキストの英文

**What do you find most challenging from the points above?**

上記の項目の中で、最も難しいと感じることは何ですか。

51

#### ロマ 8:26、27 (新共同訳)

8:26 同様に、“霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます。わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです。

8:27 人の心を見抜く方は、“霊”の思いが何であるかを知っておられます。“霊”は、神の御心に従って、聖なる者たちのために執り成してくださるからです。

#### ヘブ 11:6 (新共同訳)

11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存在しておられること、また、神は御自分を求める者たちに報いてくださる方であることを、信じていなければならないからです。

#### マコ 11:24 (新共同訳)

11:24 だから、言うておく。祈り求めるものはすべて既に得られたと信じなさい。

#### ロマ 8:26、27 (口語訳)

8:26 御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。

8:27 そして、人の心を探り知るかたは、御霊の思うところがなんであるかを知っておられる。なぜなら、御霊は、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをして下さるからである。

#### ヘブ 11:6 (口語訳)

11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自分を求める者に報いて下さることを、必ず信じるはずだからである。

#### マコ 11:24 (口語訳)

11:24 そこで、あなたがたに言うが、なんでも祈り求めることは、すでにかねえら

そうすれば、そのとおりになる。

**マタ 6:6 (新共同訳)**

6:6 だから、あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。

**使徒 12:12 (新共同訳)**

12:12 こう分かったとペテロは、マルコと呼ばれていたヨハネの母マリアの家に行った。そこには、大勢の人が集まって祈っていた。

**マタ 18:20 (新共同訳)**

18:20 二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」

**ヤコ 5:13~16 (新共同訳)**

5:13 あなたがたの中で苦しんでいる人は、祈りなさい。喜んでいる人は、賛美の歌をうたいなさい。

5:14 あなたがたの中で病気の人は、教会の長老を招いて、主の名によってオリーブ油を塗り、祈ってもらいなさい。

5:15 信仰に基づく祈りは、病人を救い、主がその人を起き上がらせてくださいます。その人が罪を犯したのであれば、主が赦してくださいませ。

5:16 だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします。

れたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになるであろう。

**マタ 6:6 (口語訳)**

6:6 あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においでになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

**使徒 12:12 (口語訳)**

12:12 ペテロはこうとわかってから、マルコと呼ばれているヨハネの母マリアの家に行った。その家には大ぜいの人が集まって祈っていた。

**マタ 18:20 (口語訳)**

18:20 ふたりまたは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである。」

**ヤコ 5:13~16 (口語訳)**

5:13 あなたがたの中に、苦しんでいる者があるか。その人は、祈るがよい。喜んでいる者があるか。その人は、さんびするがよい。

5:14 あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を注いで祈ってもらうがよい。

5:15 信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。

5:16 だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互のために祈りなさい。義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。

**金曜日 5月15日 さらなる研究**

「もし私たちがもっとイエスのことを話し、より少なく自分のことを考えるならば、一層彼のご臨在を感じることができます」(『キリストへの道』改訂第三版文庫版、145ページ)。

「疑いや恐れに支配され、はっきりわからないことをみな解決したうえで信仰を持とうとするならば、私たちはますます迷いの深みに陥るばかりです。けれども、もし私たちがありのままの姿で、自分の無力さ、頼りなさを感じながら神のもとに行

き、限りない知恵をお持ちの神に、謙虚な信頼をもって私たちの必要を告げるならば、万物を見守り、み旨とみ言葉ですべてを支配しておられる神は、私たちの叫びに耳を傾け、光で心を照らしてくださいます」(同137ページ)。

私たちの魂は、賛美の翼に乗って天に近づきます。神は天の宮廷で、歌と音楽をもって礼拝を受けておられます。ですから、私たちも感謝をささげるならば、天の軍勢の礼拝に近づくことができるのです。……私たちも『感謝の歌声』(イザヤ51:3)をもって、喜びのうちにもうやうやく創造主のみ前に行きましょう」(同148、149ページ)。

### 話し合いのための質問

- ① 金曜日の引用文の中で、あなたが最も励まされる考えはどれですか。また、あなたが最も難しいと感じる考えはどれですか。
- ② 聖書に登場する[先週の研究とは]別の人たちの祈りの生活から、どんな教訓を学ぶことができますか(数例を挙げれば、エズ 10:1、王下 13:4、ヨナ 4:2、3、ハバ 3:1、王下 19:14~19、エレ 32:16~25、ネヘ 1:4~11、王上 8:22~54 参照)。
- ③ 祈りと並行して行う断食には、どんな役割がありますか。
- ④ 今週の研究の結果として、あなたの祈りの生活の中で何か変えたいこと、新たに実行したいことがありますか。ぜひ、変えてみてはどうでしょうか。

話し合いのためのヒント:聖書には、活気に満ちた永続的な祈りの生活を送っていた人と、そうでなかった人の記事があります。聖書を読み進めていくと、神と私たちとの関係がどんな状態であっても、共感できる人が必ず見つかるでしょう。また、私たちの信仰生活において、私たちを励まし、導きとなる数多くの約束も見つけることができます。霊的な成長こそが私たちの目標であるべきです。あらゆることにおける究極の模範であり、私たちの「信仰の創始者また完成者」であるイエスに、目を向けましょう。

52

#### イザヤ 51:3 (新共同訳)

51:3 主はシオンを慰め/そのすべての廃虚を慰め/荒野野をエデンの園とし/荒れ地を主の園とされる。そこには喜びと楽しみ、感謝の歌声が響く。

#### エズ 10:1 (新共同訳)

10:1 エズラは神殿の前で祈り、涙ながらに罪を告白し、身を伏せていた。イスラエル人が彼のもとに集まり、男、女、子供から成る非常に大きな会衆ができた。この人々も激しく泣いていた。

#### イザヤ 51:3 (口語訳)

51:3 主はシオンを慰め、またそのすべて荒れた所を慰めて、その荒野をエデンのように、そのさばくを主の園のようにされる。こうして、その中に喜びと楽しみとがあり、感謝と歌の声とがある。

#### エズ 10:1 (口語訳)

10:1 エズラが神の宮の前に泣き伏して祈り、かつざんげしていた時、男、女および子供の大きいなる群衆がイスラエルのうちから彼のもとに集まってきた。民はいたく泣き悲しんだ。

**王下 13:4 (新共同訳)**

13:4 しかし、ヨアハズが主をなだめたので、主はこれを聞き入れられた。主はイスラエルが圧迫されていること、アラムの王が彼らに圧迫を加えていることを御覧になったからである。

**ヨナ 4:2、3 (新共同訳)**

4:2 彼は、主に訴えた。「ああ、主よ、わたしがまだ国にいましたとき、言ったとおりではありませんか。だから、わたしは先にタルシシュに向かって逃げたのです。わたしには、こうなることが分かっていた。あなたは、恵みと憐れみの神であり、忍耐深く、慈しみに富み、災いをくだそうとしても思い直される方です。」

4:3 主よどうか今、わたしの命を取ってください。生きているよりも死ぬ方がましです。」

**ハバ 3:1 (新共同訳)**

3:1 預言者ハバククの祈り。シグヨノトの調べに合わせて。

**王下 19:14～19 (新共同訳)**

19:14 「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。これらの証書、すなわち、封印した購入証書と、その写しを取り、素焼きの器に納めて長く保存せよ。

19:15 イスラエルの神、万軍の主が、『この国で家、畑、ぶどう園を再び買い取る時が来る』と言われるからだ。』

19:16 購入証書をネリヤの子バルクに渡したあとで、わたしは主に祈った。

19:17 『ああ、主なる神よ、あなたは大きな力を振るい、腕を伸ばして天と地を造られました。あなたの御力の及ばない事は何一つありません。』

19:18 あなたは恵みを幾千代に及ぼし、父祖の罪を子孫の身に報いられます。大いなる神、力ある神、その御名は万軍の主。

19:19 その謀は偉大であり、御業は力強い。あなたの目は人の歩みをすべて御覧になり、各人の道、行いの実りに応じて

**王下 13:4 (口語訳)**

13:4 しかしエホアハズが主に願い求めたので、主はついにこれを聞き入れられた。スリヤの王によって悩まされたイスラエルの悩みを見られたからである。

**ヨナ 4:2、3 (口語訳)**

4:2 主に祈って言った、「主よ、わたしがなお国におりました時、この事を申したではありませんか。それでこそわたしは、急いでタルシシュにのがれようとしたのです。なぜなら、わたしはあなたが恵み深い神、あわれみあり、怒ることおそく、いつくしみ豊かで、災を思いかえされることを、知っていたからです。」

4:3 それで主よ、どうぞ今わたしの命をとってください。わたしにとっては、生きるよりも死ぬ方がましだからです。」

**ハバ 3:1 (口語訳)**

3:1 シグヨノテの調べによる、預言者ハバククの祈。

**王下 19:14～19 (口語訳)**

19:14 万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、これらの証書すなわち、この買収証書の封印したものと、封印のない写しとを取り、これらを土の器に入れて、長く保存せよ。

19:15 万軍の主、イスラエルの神がこう言われるからである、「この地で人々はまた家と畑とぶどう畑を買うようになる」と。』

19:16 わたしは買収証書をネリヤの子バルクに渡したあとで主に祈って言った、

19:17 『ああ主なる神よ、あなたは大きな力と、伸べた腕をもって天と地をお造りになったのです。あなたのできないことは、ひとつもありません。』

19:18 あなたはいつくしみを千万人に施し、また父の罪をそののちの子孫に報いられるのです。あなたは大きな全能の神でいらせられ、その名は万軍の主と申されます。

19:19 あなたの計りごとは大きく、また、事を行うのに力があり、あなたの目は人々の歩むすべての道を見て、おのおの

報いられます。

**エレ 32:16~25 (新共同訳)**

32:16 購入証書をネリヤの子バルクに渡したあとで、わたしは主に祈った。

32:17 「ああ、主なる神よ、あなたは大いなる力を振り、腕を伸ばして天と地を造られました。あなたの御力の及ばない事は何一つありません。

32:18 あなたは恵みを幾千代に及ぼし、父祖の罪を子孫の身に報いられます。大いなる神、力ある神、その御名は万軍の主。

32:19 その謀は偉大であり、御業は力強い。あなたの目は人の歩みをすべて御覧になり、各人の道、行いの実りに応じて報いられます。

32:20 あなたはエジプトの国で現されたように今日に至るまで、イスラエルをはじめ全人類に対してしるしと奇跡を現し、今日のように御名があがめられるようにされました。

32:21 あなたは、しるしと奇跡をもって強い力を振り、腕を伸ばして大いなる恐れを与え、あなたの民イスラエルをエジプトの国から導き出されました。

32:22 そして、かつて先祖に誓われたとおり、この土地を彼らに賜りました。乳と蜜の流れるこの土地です。

32:23 ところが、彼らはここに来て、土地を所有すると、あなたの声に聞き従わず、またあなたの律法に従って歩まず、あなたが命じられたことを何一つ行わなかったため、あなたは彼らにこの災いをくだされました。

32:24 今や、この都を攻め落とそうとして、城攻めの土塁が築かれています。間もなくこの都は剣、飢饉、疫病のゆえに、攻め囲んでいるカルデア人の手に落ちようとしています。あなたの御言葉どおりになっていることは、御覧のとおりです。

32:25 それにもかかわらず、主なる神よ、あなたはわたしに、『銀で畑を買い、証人を立てよ』と言われました。この都が力

の道にしたがい、その行いの実によってこれに報いられます。

**エレ 32:16~25 (口語訳)**

32:16 わたしは買収証書をネリヤの子バルクに渡したあとで主に祈って言った、

32:17 『ああ主なる神よ、あなたは大いなる力と、伸べた腕をもって天と地をお造りになったのです。あなたのできないことは、ひとつもありません。

32:18 あなたはいつくしみを千万人に施し、また父の罪をそののちの子孫に報いられるのです。あなたは大いなる全能の神でいらせられ、その名は万軍の主と申されます。

32:19 あなたの計りごとは大きく、また、事を行うのに力があり、あなたの目は人々の歩むすべての道を見て、おのの道にしたがい、その行いの実によってこれに報いられます。

32:20 あなたは、しるしと、不思議なわざとをエジプトの地に行い、また今日に至るまでイスラエルと全人類のうちに行い、そして今日のように名をあげられました。

32:21 あなたは、しるしと、不思議なわざと、強い手と、伸べた腕と、大いなる恐るべき事をもって、あなたの民イスラエルをエジプトの地から導き出し、

32:22 この地を彼らに賜りました。これはあなたが彼らの先祖たちに与えようと誓われた乳と蜜の流れる地です。

32:23 こうして彼らは、はいつてこれを獲たのですが、あなたの声に聞き従わず、あなたの律法を行わず、すべてあなたがせよと命じられたことをしなかったため、あなたはこの災を彼らの上にお下しになりました。

32:24 見よ、壘が築きあげられたのは、この町を取るためです。つるぎと、ききんと、疫病のために、町はこれを攻めているカルデアびとの手に渡されます。あなたの言われたようになりましたのは、ごらんのとおりであります。

32:25 主なる神よ、あなたはわたしに言われました、「銀をもって畑を買い、証人を立てよ」と。そうであるのに、町は力

ルデヤ人の手に落ちようとしているこのときにです。』

ネハ 1:4~11 (新共同訳)

1:4 これを聞いて、わたしは座り込んで泣き、幾日も嘆き、食を断ち、天にいます神に祈りをささげた。

1:5 わたしはこう祈った。「おお、天にいます神、主よ、偉大にして畏るべき神よ、主を愛し、主の戒めを守る者に対しては、契約を守り、慈しみを注いでくださる神よ。

1:6 耳を傾け、目を開き、あなたの僕の祈りをお聞きください。あなたの僕であるイスラエルの人々のために、今わたしは昼も夜も祈り、イスラエルの人々の罪を告白します。わたしたちはあなたに罪を犯しました。わたしも、わたしの父の家も罪を犯しました。

1:7 あなたに反抗し、あなたの僕モーセにお与えになった戒めと掟と法を守りませんでした。

1:8 どうか、あなたの僕モーセにこう戒められたことを思い起こしてください。『もしも背くならば、お前たちを諸国の民の中に散らす。

1:9 もしもわたしに立ち帰り、わたしの戒めを守り、それを行うならば、天の果てまで追いやられている者があろうとも、わたしは彼らを集め、わたしの名を住まわせるために選んだ場所に連れて来る。』

1:10 彼らはあなたの僕、あなたの民です。あなたが大いなる力と強い御手をもって贖われた者です。

1:11 おお、わが主よ、あなたの僕の祈りとあなたの僕たちの祈りに、どうか耳を傾けてください。わたしたちは心からあなたの御名を畏れ敬っています。どうか今日、わたしの願いをかなえ、この人の憐れみを受けることができるようにしてください。』この時、わたしは献酌官として王に仕えていた。

ルデヤびとの手に渡されています。』

ネハ 1:4~11 (口語訳)

1:4 わたしはこれらの言葉を聞いた時、すわって泣き、数日のあいだ嘆き悲しみ、断食して天の神の前に祈って、

1:5 言った、「天の神、主、おのれを愛し、その戒めを守る者には契約を守り、いつくしみを施される大いなる恐るべき神よ、

1:6 どうぞ耳を傾け、目を開いてしもべの祈りを聞いてください。わたしは今、あなたのしもべであるイスラエルの子孫のために、昼も夜もみ前に祈り、われわれイスラエルの子孫が、あなたに対して犯した罪をざんげいたします。まことにわたしも、わたしの父の家も罪を犯しました。

1:7 われわれはあなたに対して大いに悪い事を行い、あなたのしもべモーセに命じられた戒めをも、定めをも、おきてをも守りませんでした。

1:8 どうぞ、あなたのしもべモーセに命じられた言葉を、思い起こしてください。

すなわちあなたは言われました、『もしあなたがたが罪を犯すならば、わたしはあなたがたを、もろもろの民の間に散らす。

1:9 しかし、あなたがたがわたしに立ち返り、わたしの戒めを守って、これを行うならば、たといあなたがたのうちの散らされた者が、天の果にいても、わたしはそこから彼らを集め、わたしの名を住まわせるために選んだ所に連れて来る』と。

1:10 彼らは、あなたが大いなる力と強い手をもって、あがなわれたあなたのしもべ、あなたの民です。

1:11 主よ、どうぞしもべの祈と、あなたの名を恐れることを喜ぶあなたのしもべらの祈に耳を傾けてください。どうぞ、きょう、しもべを恵み、この人の目の前であわれみを得させてください。この時、わたしは王の給仕役であった。

王上 8:22~54 (新共同訳)

8:22 ソロモンは、イスラエルの全会衆の前で、主の祭壇の前に立ち、両手を天に伸ばして、

8:23 祈った。「イスラエルの神、主よ、上は天、下は地のどこにもあなたに並ぶ神はありません。心を尽くして御前を歩むあなたの僕たちに対して契約を守り、慈しみを注がれる神よ、

8:24 あなたはその僕、わたしの父ダビデになさった約束を守り、御口をもって約束なされたことを今日このとおり御手をもって成し遂げてくださいました。

8:25 イスラエルの神、主よ、今後もあなたの僕ダビデに約束なされたことを守り続けてください。あなたはこう仰せになりました。『あなたがわたしの前を歩んだように、あなたの子孫もその道を守り、わたしの前を歩むなら、わたしはイスラエルの王座につく者を断たず、わたしの前から消し去ることはない』と。

8

:26 イスラエルの神よ、あなたの僕、わたしの父ダビデになさった約束が、今後も確かに実現されますように。

8:27 神は果たして地上にお住まいになるでしょうか。天も、天の天もあなたをお納めすることができません。わたしが建てたこの神殿など、なおふさわしくありません。

8:28 わが神、主よ、ただ僕の祈りと願いを顧みて、今日僕が御前にささげる叫びと祈りを聞き届けてください。

8:29 そして、夜も昼もこの神殿に、この所に御目を注いでください。ここはあなたが、『わたしの名をとどめる』と仰せになった所です。この所に向かって僕がささげる祈りを聞き届けてください。

8:30 僕とあなたの民イスラエルがこの所に向かって祈り求める願いを聞き届けてください。どうか、あなたのお住まいである天にいまして耳を傾け、聞き届けて、罪を赦してください。

8:31 もしある人が隣りに罪を犯し、呪い

王上 8:22~54 (口語訳)

8:22 ソロモンはイスラエルの全会衆の前で、主の祭壇の前に立ち、手を天に伸ばして、

8:23 言った、「イスラエルの神、主よ、上の天にも、下の地にも、あなたのような神はありません。あなたは契約を守られ、心をつくしてあなたの前に歩むあなたのしもべらに、いつくしみを施し、

8:24 あなたのしもべであるわたしの父ダビデに約束されたことを守られました。あなたが口をもって約束されたことを、手をもってなし遂げられたことは、今日見るとおりであります。

8:25 それゆえ、イスラエルの神、主よ、あなたのしもべであるわたしの父ダビデに、あなたが約束して『おまえがわたしの前に歩んだように、おまえの子孫が、その道を慎んで、わたしの前に歩むならば、おまえにはイスラエルの位に座する人が、わたしの前に欠けることはないであろう』と言われたことを、ダビデのために守ってください。

8:26 イスラエルの神よ、どうぞ、あなたのしもべであるわたしの父ダビデに言われた言葉を確認してください。

8:27 しかし神は、はたして地上に住まわれるでしょうか。見よ、天も、いと高き天もあなたをいれることはできません。ましてわたしの建てたこの宮はなおさらです。

8:28 しかしわが神、主よ、しもべの祈りと願いを顧みて、しもべがきょう、あなたの前にささげる叫びと祈をお聞きください。

8:29 あなたが『わたしの名をそこに置く』と言われた所、すなわち、この宮に向かって夜昼あなたの目をお開きください。しもべがこの所に向かって祈る祈をお聞きください。

8:30 しもべと、あなたの民イスラエルがこの所に向かって祈る時に、その願いをお聞きください。あなたのすみかである天で聞き、聞いておゆるしください。

8:31 もし人がその隣り人に対して罪を犯

の誓いを立てさせられるとき、その誓いがこの神殿にあるあなたの祭壇の前でなされるなら、

8:32 あなたは天にいましてこれに耳を傾け、あなたの僕たちを裁き、悪人は悪人として、その行いの報いを頭にもたらし、善人は善人として、その善い行いに応じて報いをもたらしてください。

8:33 あなたの民イスラエルが、あなたに罪を犯したために敵に打ち負かされたとき、あなたに立ち帰って御名をたたえ、この神殿で祈り、憐れみを乞うなら、

8:34 あなたは天にいまして耳を傾け、あなたの民イスラエルの罪を赦し、先祖たちにお与えになった地に彼らを帰らせてください。

8:35 彼らがあなたに罪を犯したために天が閉ざされ、雨が降らなくなったとき、この所に向かって祈り、御名をたたえ、あなたの懲らしめによって罪を離れて立ち帰るなら、

8:36 あなたは天にいまして耳を傾け、あなたの僕たち、あなたの民イスラエルの罪を赦し、彼らに歩むべき正しい道を教え、嗣業としてあなたの民に与えてくださった地に雨を降らせてください。

8:37 またこの地に飢饉が広がったり、疫病がはやったり、黒穂病、赤さび病、いなご、ばったが発生したり、敵がこの地で城門を封鎖したり、そのほかどんな災い、どんな難病が生じたときにも、

8:38 あなたの民イスラエルが、だれでも、心に痛みを覚え、この神殿に向かって手を伸ばして祈るなら、そのどの祈り、どの願いにも、

8:39 あなたはお住まいである天にいまして耳を傾け、罪を赦し、こたえてください。あなたは人の心をご存じですから、どの人にもその人の歩んできたすべての道に従って報いてください。まことにあなただけがすべての人の心をご存じです。

8:40 こうして彼らは、あなたがわたしたちの先祖にお与えになった地で生を営む間、絶えずあなたを恐れ敬うでしょう。

し、誓いをすることを求められる時、来てこの宮であなたの祭壇の前に誓うならば、

8:32 あなたは天で聞いて行い、あなたのしもべらをさばき、悪人を罰して、そのおこないの報いをそのこうべに帰し、義人を義として、その義にしたがって、その人に報いてください。

8:33 もしあなたの民イスラエルが、あなたに対して罪を犯したために敵の前に敗れた時、あなたに立ち返って、あなたの名をあがめ、この宮であなたに祈り願うならば、

8:34 あなたは天にあって聞き、あなたの民イスラエルの罪をゆるして、あなたが彼らの先祖に賜った地に彼らを帰らせてください。

8:35 もし彼らがあなたに罪を犯したために、天が閉ざされて雨がなく、あなたが彼らを苦しめられる時、彼らがこの所に向かって祈り、あなたの名をあがめ、その罪を離れるならば、

8:36 あなたは天で聞き、あなたのしもべ、あなたの民イスラエルの罪をゆるし、彼らに歩むべき良い道を教えて、あなたが、あなたの民に嗣業として与えられた地に雨を降らせてください。

8:37 もし国にききんがあるか、もしくは疫病、立ち枯れ、腐り穂、いなご、青虫があるか、もしくは敵のために町の中に攻め囲まれることがあるか、どんな災害、どんな病気があっても、

8:38 もし、だれでも、あなたの民イスラエルがみな、おのおのその心の悩みを知って、この宮に向かい、手を伸べるならば、どんな祈、どんな願いでも、

8:39 あなたは、あなたのすみかである天で聞いてゆるし、かつ行い、おのおのの人に、その心を知っておられるゆえ、そのすべての道にしたがって報いてください。ただ、あなただけ、すべての人の心を知っておられるからです。

8:40 あなたが、われわれの先祖に賜った地に、彼らの生きながらえる日の間、常にあなたを恐れさせてください。

8:41 更に、あなたの民イスラエルに属さない異国人が、御名を慕い、遠い国から来て、

8:42—それは彼らが大きいなる御名と力強い御手と伸ばされた御腕のことを耳にするからです—この神殿に来て祈るなら、

8:43 あなたはお住まいである天にいますそれに耳を傾け、その異国人があなたに叫び求めることをすべてかなえてください。こうして、地上のすべての民は御名を知り、あなたの民イスラエルと同様にあなたを畏れ敬い、わたしの建てたこの神殿が御名をもって呼ばれていることを知るでしょう。

8:44 あなたの民が敵に向かって戦いに出て行くとき、あなたの遣わされる道にあって、あなたのお選びになった都、わたしが御名のために建てた神殿の方を向いて主に祈るなら、

8:45 あなたは天にいますしてその祈りと願いに耳を傾け、彼らを助けてください。

8:46 もし彼らがあなたに向かって罪を犯し、—罪を犯さない者は一人もいません—あなたが怒って彼らを敵の手に渡し、遠くあるいは近くの敵地に捕虜として引いて行かれたときに、

8:47 彼らが捕虜になっている地で自らを省み、その捕らわれの地であなたに立ち帰って憐れみを乞い、『わたしたちは罪を犯しました。不正を行い、悪に染まりました』と言い、

8:48 捕虜にされている敵地で、心を尽くし、魂を尽くしてあなたに立ち帰り、あなたが先祖にお与えになった地、あなたがお選びになった都、御名のためにわたしが建てた神殿の方に向かってあなたに祈るなら、

8:49 あなたはお住まいである天にいますしてその祈りと願いに耳を傾け、裁きを行ってください。

8:50 あなたの民があなたに対して犯した罪、あなたに対する反逆の罪のすべてを赦し、彼らを捕らえた者たちの前で、彼らに憐れみを施し、その人々が彼らを憐れむようにしてください。

8:41 またあなたの民イスラエルの者でなく、あなたの名のために遠い国から来る異邦人が、

8:42—それは彼らがあなたの大きいなる名と、強い手と、伸ばした腕とについて聞き及ぶからです、—もしきて、この宮に向かって祈るならば、

8:43 あなたは、あなたのすみかである天で聞き、すべて異邦人があなたに呼び求めることをかなえさせてください。そうすれば、地のすべての民は、あなたの民イスラエルのように、あなたの名を知り、あなたを恐れ、またわたしが建てたこの宮があなたの名によって呼ばれることを知るにいたるでしょう。

8:44 あなたの民が敵と戦うために、あなたがつかわれる道を通って出て行くとき、もし彼らがあなたの選ばれた町、わたしがあなたの名のために建てた宮の方に向かって、主に祈るならば、

8:45 あなたは天で、彼らの祈と願いを聞いて彼らをお助けください。

8:46 彼らがあなたに対して罪を犯すことがあって、—人は罪を犯さない者はないのです、—あなたが彼らを怒り、彼らを敵にわたし、敵が彼らを捕虜として遠近にかかわらず、敵の地に引いて行く時、

8:47 もし彼らが捕われていった地で、みずから省みて悔い、自分を捕えていった者の地で、あなたに願ひ、『われわれは罪を犯しました、そむいて悪を行いました』と言ひ、

8:48 自分を捕えていった敵の地で、心をつくし、精神をつくしてあなたに立ち返り、あなたが彼らの先祖に与えられた地、あなたが選ばれた町、わたしがあなたの名のために建てた宮の方に向かって、あなたに祈るならば、

8:49 あなたのすみかである天で、彼らの祈と願いを聞いて、彼らを助け、

8:50 あなたの民が、あなたに対して犯した罪と、あなたに対して行ったすべてのあやまちをゆるし、彼らを捕えていった者の前で、彼らにあわれみを得させ、その人々が彼らをあわれむようにしてくだ

8:51 彼らは、鉄の炉であるエジプトからあなたが導き出されたあなたの民、あなたの嗣業です。

8:52 どうか、この僕の願いにも、あなたの民イスラエルの願いにも御目を向け、いつあなたに呼びかけても彼らに耳を傾けてください。

8:53 主なる神よ、あなたはわたしたちの先祖をエジプトから導き出されたとき、あなたの僕モーセによってお告げになったとおり、彼らを地上のすべての民から切り離して御自分の嗣業とされました。」

8:54 ソロモンはこのすべての祈りと願いを主にささげ終わった。それまで両膝をつき、両手を天に向かって伸ばしていた彼は、主の祭壇の前から立ち上がり、

さい。

8:51 (彼らはあなたがエジプトから、鉄のかまどの中から導き出されたあなたの民、あなたの嗣業であるからです)。

8:52 どうぞ、しもべの願いと、あなたの民イスラエルの願いに、あなたの目を開き、すべてあなたに呼び求める時、彼らの願いをお聞きください。

8:53 あなたは彼らを地のすべての民のうちから区別して、あなたの嗣業とされたからです。主なる神よ、あなたがわれわれの先祖をエジプトから導き出された時、モーセによって言われたとおりです」。

8:54 ソロモンはこの祈りと願いをことごとく主にささげ終ると、それまで天に向かって手を伸べ、ひざまずいていた主の祭壇の前から立ちあがり、